

[01] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13837>

出版情報：エネルギー史研究ノート．1，1973-05-08．エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：

備考

- 一、西洋形汽船ノ入港數ハ明治廿一年ヨリ廿三年マテ三ケ年間諸般ノ入港船ヲ概括シ平均數ヲ掲ケタルモノナリ
- 一、同載積噸數モ同上各船ノ噸數ヲ船數ニ割リ平均セシナリ
- 一、同入津料ハ一噸ニ付金壹錢宛ノ積算ナリ
- 一、日本形船舶入港數モ前掲ニ同シ尤モ五拾石積以上ニ限ル
- 一、同入津料ハ十石ニ付金壹錢五厘宛ノ積算ナリ
- 一、浚疏夫役ハ浚渫ノ泥土捨夫ニシテ惣土坪拾三万四千四百七拾八坪四合一日一人式坪掛リニテ表記ノ人夫ヲ要ス、此人夫ハ口之津村ノ負担トス
- 一、砂防池及市街地海岸埋築工事ニ係ル人夫モ口之津村ノ負担ニシテ当初ヨリ五年間ニ竣工スル目的ニ付表中特ニ五ケ年額ノ一欄ヲ設ケ浚疏工ト相伴フテ茲ニ砂防修築ノ両工事ハ完了スルコトヲ示シ自後六年目ヨリ向十五ケ年間ハ単ニ浚疏工ノミ残リシニヨリ最終ノ二十年額ノミヲ掲ケシナリ 但下段ノ欄ニ金額ヲ朱書セシハ惣計金額ヲ表スル為メナリ
- 一、埋築宅地売却代ハ市街海岸ニ新道ヲ開通シタル餘地三千八百七十四坪ノ沿道宅地ヲ得ル之レヲ壹坪弍円五十錢ツ、ヲ以テ五カ年目即チ修築落成ノ期ニ売却スルノ代価ナリ

(おわり)

附記

資料六と資料七・資料八は重複する点もあるが、原資料の省略を避けた。ただ資料七・資料八は草稿と思われるものと清書と思われるものとそれぞれ二通あり筆者において一つの表にまとめた。またその際数字は見やすさを考慮して一二三というようにして、原資料にある百式拾三という表示はとらなかつた。なお原資料の数字で合計や立坪で計算に疑問の点も数か所見当るがそのままにした。資料五には設計図面(彩色)が添附されているが、これは省略した。

執筆者紹介(執筆順)

- 秀村 選三 九州大学教授(経済学部)
- 武野 要子 福岡大学教授(商学部)
- 松下 志朗 九州大学教授(経済学部)
- 東定 宜昌 九州大学大学院博士課程
- 長野 暹 佐賀大学教授(経済学部)
- 斎藤 俊彦 NIK資料センター勤務
- 今津 健治 神戸大学助教授(教養部)
- 田中 直樹 日本大学講師(生産工学部)
- 細川 章 多久市立図書館司書